

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2023 年 5 月 1 日作成 第 1.0 版

研究課題名	頭頸部悪性腫瘍全国登録情報を用いた喉頭癌声門型 T2N0M0 症例に対する抗がん剤併用放射線治療の有効性を検討する観察研究
研究の対象	2011 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日の期間に全国において喉頭癌声門型 T2N0 と診断され、頭頸部悪性腫瘍全国登録事業に登録された当時 18 歳以上 85 歳未満の方
研究の目的	喉頭癌声門型 T2N0 症例に対する非手術的な標準治療は放射線単独療法ですが、その局所制御率を高めるために抗がん剤を併用する試みが主に本邦で行われてきました。しかしその有効性をサポートする報告は多くありません。本研究では放射線単独療法と抗がん剤併用放射線療法、の治療成績を比較し、今後の医療に役立てることを目的としています。
研究の方法	頭頸部悪性腫瘍全国登録事業として 2011 年 1 月 1 日～2015 年 12 月 31 日の期間に全国において喉頭癌声門型 T2N0 と診断され、登録された情報のうち利用可能な情報を用いて行われます。研究対象の方のご負担になることはありません。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2026 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 項目	上記対象となる方の登録された情報から以下の情報を収集します。 1) 背景情報：年齢、性別、喫煙歴、飲酒歴、頸部照射歴、同時性重複癌の有無 2) 治療情報：化学療法の種類 3) 予後
試料・情報の 授受	本研究では、外部機関との検体・情報の授受はありません。
個人情報の管 理	本研究は、頭頸部悪性腫瘍登録事務局から個人を特定することができないデータセットを入手して行われます。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	当院の個人情報の管理責任者は病院長ですが、その責務を以下の者に委任され管理されます。 研究責任者：横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科 折館伸彦
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の間接的な関係を含むものです。本研究は、横浜市立大学の基礎研究費を用いて行います。本研究で効果を検討する薬剤の製薬会社と本研究の研究者の間に、開示すべき利益相反はありません。

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

研究組織 （利用する者 の範囲）	【研究機関と研究責任者】 横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科 折館伸彦
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
<p>問合せ先：</p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 耳鼻咽喉科 （研究責任者）折館伸彦 （問い合わせ担当者）佐野大佑</p> <p>電話番号：045 - 787-2800（代表） FAX：045 - 783 - 2580</p>	